

■岩崎灌園 本草家。20年かけ、彩色した本格的な日本初の植物図鑑「本草図譜」96巻92冊を著し、借金までして出版。

いわさきかんえん

田沼意次失脚1786= 生。江戸下谷三枚橋際居住御家人岩崎儀左衛門の子。

松平定信引退1793= 7歳：

写楽・・・1795= 9歳：

少年期に学んだ尾張藩士山岡守全が師といえよう。

いづり来航・1804=18歳：

間宮海峡発見1809=23歳：小幡次郎八組御徒見習となり、同年、_小野蘭山に入門し、本草を学んだが、3か月で師が病没。

浮世床・・・1813=27歳：

黒住教・・・1814=28歳：_蘭山を江戸に招いた若年寄堀田正教に認められ、屋代弘賢撰「古今要覧稿」の物産の項の執筆を手伝う。

伊能測量終・1816=30歳：*まず「救荒本草通解」8巻を著し、

杉田玄白没・1817=31歳：_本草会を自宅又玄堂に開き、日を定めて本草を講じ、ときには採薬会も催す。

水野忠成老中1818=32歳：_「草木育種」2巻、

・・・1820=34歳：_小石川富坂の火除地を拝借、薬種として多数の植物を育てる。

英船浦賀来航1822=36歳：病没した父の跡目を継ぎ、70俵5人扶持の徒士となる。軽格のため蒲鞭会の正員ではなかったが、会員の_馬場大助に同好の士として優遇された。大助の「群英類聚図譜」には、灌園の「本草図譜」と同じ絵があり、またシーボルトを大助が訪れた際、灌園も同道するなど、親交が知られる。

シーボルト鳴滝塾1824=38歳：*「日光山草木之図」8巻など著わし、幕府に献上。

・・・1826=40歳：_「武江産物誌」同付図「武江略図」刊、

シーボルト事件・1828=42歳：

富籤流行・・・1830=44歳：*主著「本草図譜」96巻92冊は20年間の結晶で、山草部4冊、芳草部2冊を刊行、手彩色を施す。幕府・聖堂・医学館に献じ、一般に販売。伊勢国多紀郡相可村出身の富豪で、本草家でもあった西村広休に借金し、豪華図譜出版を遂げた。

富嶽三十六景1831=45歳：

高島砲術・・・1834=48歳：*辞職、小普請入りし、

大塩平八郎乱1837=51歳：

適塾オープン・1838=52歳：隠居、

勸進帳初演・1840=54歳：

天保改革弾圧1842=56歳：_没した。

「本草図譜」はその後も刊行が継続され、1847年に完了した。